17 株式会社 JAぎふ はっぴぃまるけ

視察受入れ：可　　報道機関受入れ：可

2020年、JAぎふが全国の単位農協では初の特例子会社を設立。地域共生社会の実現に貢献するという理念で活動し、自作農地約5反でサツマイモ、トウガラシ、サトイモ、景観作物の栽培をはじめ、現在は手作り味噌の製造販売等で安定した収入と、社会貢献活動として障がい者向けの体験農園を開園した。

基本情報

- 所在地：岐阜県岐阜市
- 団体名：株式会社ＪＡぎふはっぴぃまるけ
- 取組パターン：グループ連携支援型
- イベント：はっぴぃマルシェ

当社加工品をマルシェで提供
現在毎週金曜日に開催

社員デザインのチラシ

取組の概要

○　障がい者の１年を通じた農業経営の取組として、LED人工光栽培による枝豆、ブロッコリー、花苗の販売や岐阜農林高校との連携で、美濃飛騨伝統野菜（まくわうり）の原種苗を譲り受け、委託栽培。
○　出向く農業の実施として、米農家へ田植え、稲刈りの労働力支援、野菜農家へ正月用祝大根出荷作業の労働力支援。
○　農産物加工事業は枝豆の剥き身・冷凍イチゴ加工・各務原にんじん袋詰。
○　６次産業の開発にＪＡぎふ女性部より事業継承した（まめなかな味噌）の製造販売。

LED人工光栽培

農林高校生と（まくわうり）の定植

味噌加工作業

各務原にんじん袋詰め

体制図

障がい者雇用ネットワーク

社会福祉協議会　行政機関　社会福祉事業団

（親会社）JAぎふ

A型就労継続支援事業所

B型就労継続支援事業所 株式会社ウェル・ファーム

特例子会社
株式会社ＪＡぎふはっぴぃまるけ

株式会社緩農ぎふ

農家（組合員）

特別支援学校

就労移行支援　職業センター　ハローワーク　就業・生活支援センター

取組の成果

○ ＪＡぎふ女性部より事業継承した「まめなかな味噌」はＪＡ直売所で完売状態で、それをもとに幻の唐辛子を混ぜ合わせた加工品「徳山とうがらし味噌」がヒット商品となり、味噌事業の売上は500万円。
○　岐阜農林高校から提供された美濃飛騨伝統野菜（まくわうり）の原種苗を当社が栽培管理し高校へ出荷⇒岐阜農林高校が加工⇒まくわうりアイス売上50万円。
○　はっぴぃマルシェの開催
当社で生産した農産物、加工品の販売、加工品を使用した飲食提供で地域交流。
○　2020年度の平均賃金ついて、年度当初の月額10万円から年度末には月額11万5千円へ増額となった。

所在地▶岐阜県岐阜市司町37
連絡先▶TEL:058-265-3521　FAX：058-265-3672
E-mail:happymaruke@gmail.com
ウェブサイト▶https://www.facebook.com/happymaruke/

【取組のプロセス】

きっかけ　2020年、単位農協で全国初の特例子会社となる。親会社JAぎふの経営理念を基に、地域の障がい者をはじめとするすべての人たちと向き合い、地域に根差した事業を行い居場所づくりと核となる存在を目指す。

2020年～

年間を通じて安定した作業計画

○　LED人工光栽培苗による枝豆、ブロッコリー、にんじんのプランター栽培を実施。
　障がいを持った本店事務職や清掃社員らによる農業の取組で、週１回全員参加で播種。

○　岐阜農林高校との連携により、美濃飛騨伝統野菜である岐阜県本巣市原産の希少種【まくわうり】の原種苗を高校から譲り受け当社で委託栽培し、農林高校でアイスクリームなどに加工。

岐阜農林高校と連携まくわうり定植

出向く農業も実施

・米農家への支援
田植え、稲刈り時期の労働力支援

・野菜農家への支援
正月用祝大根農家へ出荷作業時の労働力支援

年間を通じて安定した収入源

○　農産物加工事業は枝豆の剥き身・冷凍イチゴ加工。

○　ＪＡぎふから出荷された各務原にんじんは、農福連携商品として当社シールを貼り、袋詰め作業を行い、会社概要が分かるＰＯＰ展示の結果、市況の1.5倍という高付加価値となった。

○　６次産業の開発にＪＡぎふ女性部より事業継承した【まめなかな味噌】の製造販売は安定した収入源。またローゼルを栽培し新商品として開発したハイビスカスティーを販売。

米農家・野菜農家へ労働力支援

広報活動ＳＮＳ
Facebook・Instagram
LINE@の開設

機関紙
JAぎふ職員向けの
まるけ通信の発刊

地域共生社会の実現に向けた取り組み

○　体験農園の開設
障害者向け体験農園【まるけふぁ～む】を４回開園し、障がい者とその家族５組１２名が参加。

○　【はっぴぃマルシェ】を開催し、当社で作った農産物、加工品の販売、当社加工品を使用した飲食提供。

○　特別支援学校から実習生の受け入れ、視察、講演。

○　ＪＡぎふや行政と連携を図り、地域で農を通じた「障がい者雇用ネットワーク」を構築し、その中核となるような活動を推進。

おんさい広場（JAぎふ）での勤務

空き家の草刈り

啓発事業
【まるけボランティア】

JAぎふ職員に呼びかけ一緒に活動を行いたい人の組織

現在12名登録

2021年～

○　空き家の草刈り・庭木伐採・管理等についてＪＡぎふ窓口に依頼があり、通年事業化に向けて取組の検討開始。

今後の展望

主力商品の事業展開・新規事業の拡充と有機ＪＡＳ認定に向けて

○　岐阜県、ＪＡぎふとの連携で、サツマイモの有機ＪＡＳ認定に向けた取り組みの検討開始。

○　ヒット商品を手掛け安定収入となっている味噌事業は、加工品の開発でさらなる付加価値を目指す。

障がい者向け体験農園